

2020年3月18日

各位

新潟県長岡市蔵王三丁目3番1号

北越メタル株式会社

代表取締役社長 棚橋 章

「Metal Vision 2030<絆>」の実現に向けた東京電力グループとの取り組みについて
～生産特化型の事業環境再構築に向けた特別高圧受変電設備全般のアウトソーシング～

このたび当社は、東京電力エナジーパートナー株式会社（代表取締役社長：秋本展秀、以下「東電 EP」）の 100%子会社である日本ファシリティ・ソリューション株式会社（代表取締役社長：柴田祐亮、以下「JFS」）と「特別高圧受変電エネルギーサービス契約」を締結するとともに、低炭素で持続可能な社会の実現に向けて東京電力グループと共同で取り組みを進めることを、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 契約締結に至った背景

当社は、全てのステークホルダーの皆様にとっての存在価値を創造、強化し、不連続・不透明な未来に向けて、持続的な成長を図るため、長期ビジョン「Metal Vision 2030<絆>」を策定し、2019年10月1日に公表いたしました。この長期ビジョンに基づき、電気炉を活用した「環境に優しい地域循環型社会の実現へ貢献する企業」を目指し、様々な取り組みを進めておりますが、その一環として、本社工場における特別高圧受変電設備の全面リニューアルに合わせ、ビジネスパートナーである JFS に設備設計から施工ならびに運用、その他の電気に係わる包括的な業務をアウトソーシングすることで総合的なエネルギーサービスを楽しむとともに、低炭素で持続可能な社会の実現に向けて東京電力グループと共同で取り組みを進めることといたしました。

2. 取り組みの概要

当社は、本社工場（新潟県長岡市）に設置している特別高圧受変電設備の全面リニューアルに合わせて、JFS へ最適な設備の設計から施工、運用ならびに工場で使用する必要な電圧へ変換した電力の供給までを一貫してアウトソーシングするとともに、東電 EP による省エネ人材の育成等も含めた総合的なサービスを提供していただきます。当社と東京電力グループは、低炭素で持続可能な社会の実現に向けて、工場全体の CO₂削減ならびに生産能力の向上を見込む展開を視野に入れながら共同で取り組んでまいります。

3. 各社の役割

本サービスの開始は 2022 年 5 月を目指しており、当社は本サービスの提供を受けることで、社員一人一人が能力を十分に発揮できる本業特化型の環境を整えるとともに、省エネ人材育成プログラムを組み込むことで、CO₂排出量削減を継続的に実践できる企業を目指してまいります。

JFS は、本サービスにおける設備設計から施工、運用を総合的に実施し、東電 EP におきましても、本サービスの技術支援ならびにこれまで培ってきた省エネ手法等を人材育成プログラムとして織り込むことで、トータルソリューションサービスを展開してまいります。

以上